

～1ターン就農で6次産業化カフェ経営。

動物たちと楽しく島暮らし～

成田 柴乃さん(今治市(旧関前村))

株式会社みかんの島 代表取締役 1972年生まれ

まるせきカフェ <http://marusekicafe.com/>

フェイスブック <https://facebook.com/marusekicafe/>



☆経営概況☆

農園 20a (果樹・野菜・ハーブ) 養鶏 90羽 (採卵)

まるせきカフェ (営業日: 月・金・土日祝 11時～17時)

ハンドメイドカフェ星の海島の空 (営業日: 土日 12時～16時)

六次産業化を前提とした自然農業。少量多品目で、基本的には自社加工で必要な収量を生産。本人と、アルバイト3名(カフェ)で運営。

☆ここがポイント☆

2012年春に東京から1ターン移住し、地域おこし協力隊として3年間の任期を終え、新規就農すると共に株式会社みかんの島を設立しました。

設立と同時に、関前諸島岡村島唯一の飲食店として「まるせきカフェ」をオープンし、農園で栽培した野菜や新鮮卵などを使ったランチのほか、スイーツ、パン、自家焙煎珈琲、お土産などを提供しています。2019年9月に「ハンドメイドカフェ星の海島の空」をオープンしました。

また、養鶏の他にも、農業のパートナーとして、ロバ・ヤギを飼育し、農地の雑草やカフェで出た野菜くずなどを食べてもらい、糞を堆肥にして土に返す循環型の農業を行っています。

ロバが背中に柑橘の収穫籠を背負った「ロバと一緒にみかん狩り」体験など、動物とのふれあいプログラムも展開中です。

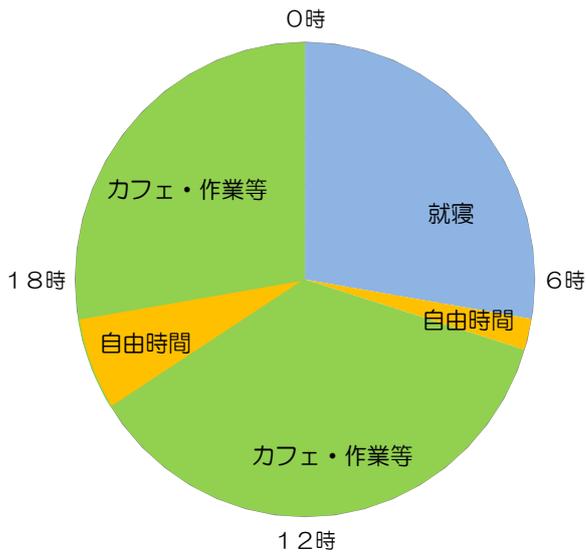


ロバのお隣で農作業



笑顔で島のPRと商品販売

【一日のライフスタイル (カフェ営業日)】



【普段の生活について】

動物を飼育しているため基本的に休日はありません。毎日、朝と夕に必ず畑に行き作業を行っています。カフェは手作り品が多いため、営業日以外は加工品の製造など営業準備に時間をかけています。また事務的な仕事や注文品の発送作業などは夜に行うようにしています。

その他、宿泊施設の管理や、地域の役割(消防団、婦人会、自治会長など)も多く、休みをとる暇がありません。そんな毎日は都市部であれば疲弊してしまいましたが、島の豊かな自然と人、ふれあえる動物たち、美味しい食事、そして同じ目標を持つパートナーが居るおかげで、毎日が楽しく、とても豊かに暮らせています。

【一週間のライフスタイル (一例)】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】 休日は、天候や加工業務の状況を見て取得している。						
畑作業 カフェ営業	畑作業 地域活動・ 買い出し等	畑作業 加工品製造	畑作業 加工品製造	畑作業 カフェ営業	畑作業 カフェ営業	畑作業 カフェ営業



ロバやヤギは農業のパートナー



焼き立てのパンは地元の方に大人気

☆これからの夢や目指すもの☆

私が移住した関前諸島の岡村島は人口約300人、高齢化率70%を超える地域です(2017年現在)。年々人口は減り、過疎高齢化は加速度を増して進んでいます。「足の悪い高齢者でも気軽に立ち寄れる、1階で集まる場所がほしい」「焼き立てのパンが食べたい」など、地域の声を聴き、移住当初は考えてもいなかった飲食店の営業「まるせきカフェ」を始めました。そして、カフェで提供するために必要な農産物を生産する、6次産業化を前提とした農業は、小さな島での暮らしにピッタリでした。

今後は、農業を主としながら、加工・動物飼育・飲食店・土産品販売・宿泊施設などの多業をなりわいとし、島で雇用を産める仕組みを作り、U・Iターンの受け皿になれるよう、これからも頑張っていきます。

☆メッセージ☆

やればやるだけ成長していく、それが農業です。自然と生活が寄り添いあう環境の中で、自分のやりたい事に全力で取り組める、それは最高に贅沢な暮らしです。